

町内探検隊

町内会長の稲垣さんにまちを紹介してもらいます。

小堤町は市役所のすぐそばで、緑に囲まれた住みやすいまちです。

まちの住宅街には、ガーデニングで花が咲いている家がたくさんありますよ。中には、3mのサボテンや、ハスが咲いているお宅もあり、見ごたえ抜群。まちが花い



っぱいになるのはうれしいですね。

町内には、日本将棋連盟安城支部があります。毎週日曜日の午後1時から将棋を楽しむため、市内外問わず、多くの人が集まります。12面あり、皆さん熱心に将棋を指しています。支部長の服部さんは、錦町小・桜町小のクラブ活動で、将棋を指導しているそうです。

安城七夕まつりでは、町内会・婦人部・老人会・子ども会とみんなが協力して盛り立てています。大変ですが、やりがいがありますね。

まちでは退職した後の元気な人で、「おやじの会」という活動をしています。七夕まつりの笹に飾り

今月の舞台 小堤町



つけしたり、まつりの後、竹を片付けたり、車いすの小学生の送り迎えを入学時からしたり、足の不自由な人の庭の雑草をとったり、まちの人のお役に立てることをしていますよ。これからも、まちの人たちがお互いに協力できるまちにしていきたいです。



わたしの望遠郷

私の故郷は、小高い山と海に囲まれた自然豊かな松浦市です。福岡から車で2時間、佐世保から40分の長崎県北部にあります。海岸線に沿って、国道と松浦鉄道が並行して走っていて、車窓からは眺めは最高です。海の向こうには大小の島々が浮かんでいます。

私の好きな景色は、星鹿半島の先端にある城山からの眺めです。山頂にある展望所からは、スケールの大きな眺望が楽しめ



ます。中学時代、何度も徒歩で登った思い出深い場所ですね。ところで、私の母校の近くに「不老山」があります。秦の始皇帝の命を受け、徐福が、不老不死の仙薬を求めて東へ船旅をしたという「徐福伝説」と関連があるそうです。現在は、市の中心部と海を望む、つつじの名所となっています。

ほかには、鳴り砂で有名な「ぎぎが浜」など、多くの海水浴場があります。

毎年お盆の8月15日には、星鹿港で精霊流しが開催されます。初盆を迎える家の人が、灯笼などで飾った手作りの精霊船を、

長崎県松浦市



星鹿港

川や海に流します。大変厳かながら、心に残る行事です。

小さなまちですが、有名な産物があります。それは、アジ・サバの水揚げが日本一ということです。スーパーなどで松浦産アジを見つけてみてください。

立石松江さん(今池町)

元気っ子アルバム



石原実愛ちゃん(10カ月)

絵本が大好きなみのです。つたい歩き&ハイハイでどこでも行けちゃうよ！最近「おててタッチ」がじょうずになったの。お父さん：康信さん
お母さん：圭さん (新明町)



西川蒼太くん(2歳)

はじめまして、蒼太です。将来の夢は警察官!!晴れた日は、三輪車に乗ってパトロールをしています。安城の町は僕が守るぞ!!
お父さん：潤さん
お母さん：悦子さん (昭和町)

五十嵐優菜ちゃん(2歳)
莉子ちゃん(3カ月)



ちょっぴりおませな優菜です。妹の莉子ちゃんのお世話をするのが好きです。おそろいのお洋服が着れてうれしいな♡
お父さん：俊介さん
お母さん：真智子さん (三河安城本町)

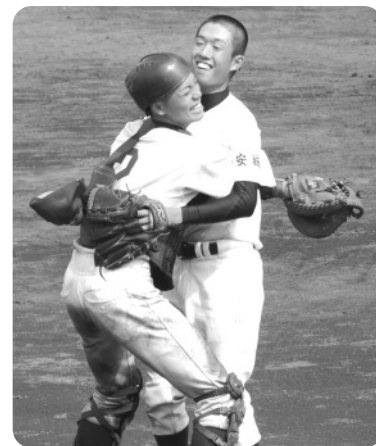
「わたしの望遠郷」、「ほっとタイ夢」、「元気っ子アルバム」コーナーでは、市民の皆さんからの投稿をお待ちしています。詳しくは、電話で秘書課広報広聴係(☎71)2202)へ。掲載者には記念品を差し上げます。
わたしの望遠郷→以前に住んでいたふるさとの思い出を紹介 ほっとタイ夢→夢や、ほっとする話を紹介

ほっとタイ夢

仲間に支えられ、難聴乗り越えエースに！
鍵谷拓也さん(安城東高校3年)

◆難聴を克服

生後10カ月で先天性感音難聴と診断されました。音が全く聞こえなかったため、3歳のときに人工内耳を埋め込みました。毎週東京の病院へ通い、言語聴覚士から発音の指導や、毎日母



と発音の練習など、言語の習得にとっても苦労したんです。

◆仲間に感謝

夏の高校野球でピッチャーを務めました。部員のみんなは、自然と聞きやすい左側から話しかけてくれ、試合中もすぐ声をかけてくれました。たくさんの人の助けがあったからこそ成し遂げられました。特にキャプテンの岩間くんは、小学校からの友人。自分を特別扱いせず、ほかの人と同じように厳しく接してくれました。彼らの強い支えのおかげでマウンドに立ち続けることができました。

お礼を言わせてください。「みんなと一緒に野球がやれたことが、すごく幸せだったよ！」

◆今後は自分が支える立場に

もちろん部員以外にも、たくさんの人に助けてもらいました。好きな野球を続けながら、将来は、難聴の子どもたちの力になれば、人とのつながりの大切さを伝えていける職業に就きたいです。今度は自分が、人を支える存在になればうれしいですね。

